

# 「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		職員交通安全推進事業費 [職員交通安全推進事業]									
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	公安費	事業番号	5
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	総務管財		課		用地管財		係		課長名	岩本 尚史	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)	112		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	庁用自動車を運転する職員 →				運転者講習会参加人数(延べ) →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
交通事故を発生させないようにする。 →				庁用自動車事故発生件数(市に過失があるもの) →							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員を対象とした運転者講習会を開催する。</li> <li>安全運転管理者及び副安全運転管理者を選任し、法定講習を受講する。</li> <li>全国交通安全運動の時期に職員に対し安全運転を呼びかける。</li> <li>毎月の安全運転管理目標を定め、各課に周知を図る。</li> <li>事故が発生した場合、全庁的に事故事例の情報共有を行う。</li> </ul> →				運転者講習会開催回数 →							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	307	345	302					
	成果指標	②の数値	件	7	10	4					
	目 標	②の目標値	%	0	0	0					
		目標値設定の考え方									
		活動指標	③の数値	回	2	2	2				
3 経費	事業費(実績)		円	56,340	64,385	64,912		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	56,340	64,385	64,912					
		特定財源	円	0	0	0					
	(うち受益者負担)		円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.1	0.1	0.1				
		所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0				
		職員人件費(再任用以外)		円	824,400	824,400	831,000				
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	880,740	888,785	895,912						
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度								
	(2) 環境の変化		庁用自動車の使用により、本事業が開始された。道路交通法第七十四条の三の規定により、車両を5台以上使用する事業所は安全運転管理者を、20台以上使用する事業所はさらに副安全運転管理者を設置し、交通安全教育を行うこととされているため、本事業を行っている。								

事業名称	職員交通安全推進事業費 [職員交通安全推進事業]			
担当部署・課長名	総務管財	課	用地管財	係 課長名 岩本 尚史

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	特になし	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ  <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点	
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)	
	件数こそ少ないものの、事故は発生している。無事故にするための検討が必要である。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。	
	毎月の事故件数結果を周知や、月間管理目標等を定め、交通事故防止の意識向上を図った。また、ドライブレコーダー設置の庁用車を増やした。	
8	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)	
	事故は毎年発生しているので、引き続き無事故にするための検討が必要である。	
9 今後の方向性	8 施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)	
	施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名： )	
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 運転者の交通安全に対する意識を高めることができるように、呼びかけ方法を工夫していく。同乗者がいる場合は、後退時降りて確認する等、運転手だけでなく同乗者の意識を変えるよう呼びかける。	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
職員全員の交通安全への意識改革		